麻瘮、一名膚疹、一名騷疹、一名糠疹、一名麩疹、一名痦子、一名痧子、一名赤瘡、〇中略

按、麻如麻、痧如沙、但大小不同耳、所謂痘疹、麻疹、痧疹、風疹、隱疹之屬、蓋指初出赤點皆謂之疹、疹與瘮古通用、

〔日本紀略十一條〕長德四年七月二日戊午、今月天下衆庶煩疱瘡、世號之稻目瘡(イナメガサ)、又號赤疱瘡、

〔玉勝間四〕あかもがさ

日本紀略云、長德四年七月、天下衆庶煩疱瘡、世號之稻目瘡、〇中略稻目瘡と名けたるは、蘇我稻目大臣の事を思ひてなるべし、書紀欽明御卷十三年、疫氣のおこりし事考ふべし、又敏達御卷に、十四年天皇與大連卒患於瘡云々、又發瘡死者充盈於國、其患瘡者言身如被燒被打被摧、啼泣而死、老少竊相謂曰、是燒佛像之罪矣とあるも、あかもがさにやありけむ、〇中略赤もがさは、今の世にはしかといふ瘡也、

〔隨意錄五〕麻疹之患、則一條帝長德四年夏初、此瘡流行、國史稱之赤斑瘡、方言阿加毛加左西村玄周、引數證云、赤斑瘡之爲麻疹也、不容疑矣、

〔赤斑瘡辨綱要〕赤斑瘡異名

赤斑瘡 類聚符宣抄 抄皇代記 醫心方 吾妻鏡 小右記 拾芥抄 山槐記 萬安方 扶桑略記 頓醫抄 日本紀略帝王編年記百練 濫觴抄鶴岡社務記錄闘東評 定傳歴代皇紀 類聚大補任 赤斑之瘡 吾妻鏡脱漏 赤斑 吾妻鏡脱漏 赤疱瘡 扶桑略記日本紀略百 練抄中右記皇代記 歴代皇紀皇年代 略記倭漢合運 大疱瘡 歴代皇紀 赤瘡(アカガサ) 中右記 赤疹 萬安方 倭漢合運 永祿板年代記 新撰倭漢合運圖 赤裳瘡(アカモガサ) 左經記 麻疹(ハシカ) 妙法寺記錄 麻疹 醫學天正記 麻豆瘡(ハシカ) 萬安方 頓醫抄 麻子瘡 一代要記 拾芥抄 疹(ハシカ) 萬安方羅山 文集諸 疾宜禁集 瘡疹(ハシカ) 萬安方 節用集 瘢疹(ハシカ) 萬安方醫 學天正記 疹瘡(ハシカ) 頓醫抄 疹子 萬安方 細疹 頓醫抄 稻目瘡(イナメガサ) 日本紀略 瘀(ハシカ) 多門院日記 黑豆疹(ハシカ) 運歩色葉集 麩瘡(ハシカ) 萬安方 頓醫抄 膚瘡 頓醫抄 あかきかさ 榮花物語 あかゞさ 榮花物語 あかもがさ 榮花物語 はしか 頓醫抄訓 日記訓 萬安方訓節用集訓 運歩色葉集訓神明鏡訓 多門院 後奈良